

第2部会 子育て・教育分野

1 審議会での主な意見

○全体

- ・企業や町工場は地域の子育て、教育に貢献したい
- ・商助の概念（企業の地域貢献）

○子育て

- ・乳幼児期からの愛着形成が極めて重要
- ・子どもへの投資
- ・虐待と貧困
- ・体験格差と教育虐待
- ・自然と触れ合う機会が少ない
- ・子どもらしさを大切にする
- ・子どもの意思・意見の尊重
- ・乳幼児期から生きる力を育む
- ・子どもを念頭に置いた施策の展開、こどもまんなか
- ・親同士が繋がることのできる機会と場の創出、コーディネーターの育成
- ・ライフ・ワーク・バランスの充実、子育てに対する意識の変化
- ・すみだ保健子育て総合センターでの連携強化（行政内の連携）

○教育

- ・一人ひとりの学習意欲を高める
- ・部活動での外部人材活用
- ・学校と地域の連携（コミュニティスクールの推進）
- ・不登校対策
- ・学校内の居場所づくり
- ・ともに育つ、ともに育てる教育
- ・専門家による授業の実施（学校医による健康教育など）

前回の審議で出された意見・キーワードを列記。

子育て・教育分野についてのまとめ

第2部会 子育て・教育分野

2 10年後の未来予想図

「子どもの可能性をひろげるまち」

子どもは無限の可能性を秘めています。子どもたちを取り巻く環境によって、子どもたちが何かを諦めるのではなく、夢や目標に向かって挑戦できるよう、地域で子どもを支え、ともに成長していくことができるまちをめざします。

■こどもまんなか

将来のすみだを支えていく子ども、若者が住み続けたい、地域で活躍したいと思えるすみだになっていく必要があります。子ども、若者の意思が尊重され、地域で伸び伸びと成長し、暮らしていけるまちをつくります。

■ともに育つ

成長するのは子どもだけではありません。子育て、教育を通じて、保護者、地域の方も成長し、また、その成長を共感、喜び合える地域をつくります。